

みしま

◎地上デジタル放送
今年12月に始まります

(2・3ページ)

主な内容

- P4 ブロードバンドって？
- P6 ズームインみしま
- P9 みしま HOT LINE
- P10 みしま INFO & NEWS
- P11 保健師だより
連載「心ある医療」
- P12 情報ひろば
- P14 消防操法大会
両沼地方予選会

2008
8

広報みしま No.185



Photo/子育てサークル「カタクリデビュー」で行われた流しそうめん（7月15日 森の校舎カタクリ）

テレビ放送

地上デジタル放送が 今年12月に始まります

試験放送は10月から（柳津三島中継局・東金山中継局）



地上デジタル放送対応の薄型液晶テレビ

現在、放送されている地上アナログ放送は 平成23年7月24日まで見ることができます

それ以降は、従来のアナログテレビでは
テレビ放送を見ることができなくなります

都市部では、すでに始まっている地上デジタル放送。三島町でも、今年12月から受信できるようになる予定です。三島町では、現在、会津若松中継局・柳津三島中継局・東金山中継局からの電波を受け、テレビの放送を受信しています。会津若松中継局では平成十八年から地上デジタル放送が始まり、柳津三島中継局と東金山中継局では、今年十一月に始まる予定となっています。現在放送されている地上アナログ放送は、三年後の平成二十三年七月二十四日で終了します。それ以降は、従来のアナログテレビのままで放送を見ることができなくなり、デジタルテレビやデジタルチューナー等の準備が必要になります。また、山間の難視聴地域に住んでいるため、共聴施設によってテレビ放送を受信している皆さんについては、共聴施設が地上デジタル放送に対応していなければ、放送を見ることができなくなります。あらかじめ、共聴施設の受信者同士が協力して対応する必要があります。

地上デジタル放送を見るには

デジタルチューナーを買い足して 現在のアナログテレビを使う

アナログテレビであっても、デジタルチューナーを接続すれば地上デジタル放送を見ることができます。

地上デジタル放送対応テレビを 購入する

高画質・高音質で、魅力あふれる地上デジタル放送を楽しむことができます。

※詳しくは電気店等にご相談ください。

なぜデジタル化するの？

デジタル放送電波の特性を生かした
様々なメリットがあります

①ゴーストのない きれいな画面

地上デジタル放送では、ゴースト（画面の二重映り）がないきれいな画面で、臨場感と迫力あふれる高画質と高音質が楽しめます。

④携帯電話で見られる ワンセグ放送

移動中の携帯電話でもカーナビでも、チャツキのない画像が見られます。また、放送事業者によるワンセグ用の様々な情報サービスも検討されています。

②各種情報が得られる 便利なデータ放送

データ放送によって、住んでいる地域の天気予報や料理番組のレシピなど、番組の補足情報が豊富に得られます。

⑤視聴者に優しい 字幕放送

多くの番組に字幕放送が付いており、目でストーリーを追うことができるので、視聴者に優しく便利なサービスです。

③視聴者が参加できる 双方向機能

インターネットにつながることで、番組中の懸賞に応募したり、アンケートやクイズに答えるなど、視聴者がテレビに参加することができます。

⑥番組表は画面上で いつでもチェック

地上デジタル放送では、画面で番組表を見ることができ、出演者やあらすじもチェックすることができま

す。また、二週間先まで視聴予約が可能です。

デジタル化に早めの対応を

共聴施設では早めに相談してください
隣近所声をかけ合って対応しましょう

共聴施設では受信状況の 調査が必要です

共聴施設によってテレビ放送を受信している地域では、電波の受信状況を調査する必要があります。調査の結果、一部の世帯がアンテナ受信できなくなった場合は、共聴施設を縮小するのか、今の世帯数のまま改修するのか、将来の維持管理費も考えながら、受信者の皆さんの話し合いで決める必要があります。

共聴施設の改修工事は 早めに行ってください

地上アナログ放送終了が近づいてくると、共聴施設の改修工事が集中することが想定され、工事の手配が間に合わなくなる恐れがあります。早めに保守管理されている業者等に相談し、「最適な改修方法は何か？」「改修には経費や期間がどのくらいかかるか？」などを話し合ってください。

隣近所にも声をかけて 助け合いましょう

テレビ放送はみんなの楽しみです。地上デジタル放送への移行に気づかず、テレビが見られなくなってしまうないように、隣近所で声をかけ合ってデジタル化に対応しましょう。

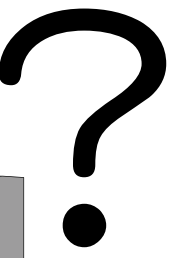
地上デジタル放送に関する問合せ先

- 地上デジタル放送全般について
総務省 地上デジタル放送受信相談センター
Tel 0570-07-0101
- 共聴施設のデジタル化対応や支援制度について
東北総合通信局 放送部有線放送課
Tel 022-221-0705
- NHK辺地共聴施設の改修について
NHK福島放送局
Tel 024-526-4333

悪徳商法にご注意を！

最近、デジタル放送に関連した悪徳商法が発生しており、特に高齢者が被害に遭いやすい傾向があります。総務省やその関係機関が、受信者から直接お金を請求することは一切ありませんので、そのような地上デジタル放送に便乗した架空請求などの悪徳商法には、十分ご注意ください。

ブロードバンド……って… 三島町の情報化について考える



「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」使えるデジタル・デバイド（情報格差）のないインフラ（基盤）の整備を実現するために、総務省では二〇一〇年度までに「光ファイバー等の整備を推進し、ブロードバンド・ゼロ地域を解消する」「超高速ブロードバンドの世帯カバー率を九十%以上とする」ことを目標に掲げています。

一方、当町では地形等の厳しい条件にあつて過疎化・高齢化の進行など多くの問題を抱えている中、他地域格差のない環境が求められています。しかしながら、現在の環境は高速接続であるADSLサービスでも利用できる世帯は限られ、光ケーブルなどの超高速サービスにいたっては、提供される見込みは極めて厳しいものがあります。

ブロードバンドは、ユニバーサル・サービス（一般的なサービス）ではなく、かつ、整備の原則は従来から「民間主導」とされているため、電気通信事業者側に採算性が働かない地域ではサービス開始が見込めません。このため、国や県の支援（補助）を受けて市町村がブロードバンド環境を整備する事例が増えております。

近隣の町村の状況は？
柳津町・金山町・昭和村では、三島町同様、交換局から遠い地区を除いて民間事業者によるADSLのサービスが利用可能であり、また只見町では全域、柳津町では公共施設間で光ケーブルを町が整備しています。西会津町においては、町がケーブル局を開設しケーブルテレビのサービスを提供しています。

ブロードバンドとはなにか

一度に大容量のデータの送受信が可能な高速インターネット回線のことを「ブロードバンド」といいます。ADSLやCATV、光ファイバーなどの有線通信技術や、FWAなどといった無線通信技術を用いて実現される通信回線のことで

す。

具体的には、次のような接続回線があります。

【ADSL】

一般の電話回線を利用した高速インターネット接続サービスで、平成17年より三島町でも提供が開始したサービスです。しかしながら、NTT電話交換機からの距離が遠くなるほど通信速度が落ち、サービスの提供を受けれる範囲はケーブル延長で約4 km程度までとされています。

【CATV】

ケーブルテレビ事業者がケーブルテレビ用に敷設した回線を使用して行うインターネット接続サービスです。利用地域が限定され、通信速度はサービス地域内であれば大差はありません。近隣では、西会津町がケーブルテレビの方法を取り入れています。

【光ファイバー】

光ファイバー（ガラスやプラスチックの細い繊維でできている）を通信回線として利用するものです。通信速度は従来のメタルケーブルと比べて段違いに速くなり、またノイズに強く安定した通信が行えます。

【FWA（無線アクセス回線）】

無線による高速データ通信であり、通信速度は有線に比べると劣り、電波状況に影響されることがあります。しかし、有線（光ファイバー等）の敷設が困難な地域でも活用でき、また整備費用が有線に比べ安価です。

光ケーブルで広がる通信網の可能性

インターネット



高速通信網である光ケーブルを使ったインターネット通信では、現在三島町がサービスの提供を受けているADSLと比較しても、通信速度は2倍以上で、かつ局舎からの距離に影響しないため町内全域において超高速接続が可能になります。大容量のデータ（動画や音声等）の送受信なども容易になります。どんなに離れた山間部でも大都市と同じ通信速度でサービスを受けることが可能になります。

IPテレビ電話



テレビ電話は、電話にカメラとモニター画面を組み合わせて、相手の顔を見ながら話すことができるシステムで、IP電話とはインターネット回線を利用した電話サービスのことです。光ケーブルでの超高速通信により円滑な動画で相手の顔（表情）を見ながらの通話が可能となり、またインターネット回線を利用した通話により通話料が軽減するなどのメリットがあります。

携帯電話



町内において未だ携帯電話のつながらない地域（不通話エリア）が存在し、携帯電話時代となった今では、日常的な連絡はもちろんのこと、災害時等の緊急連絡手段としても不通話エリアの解消は緊急の課題とされています。町が事業主体となつて行う鉄塔整備には膨大な費用がかかるため、光ケーブルを整備し、一部を伝送路として解放することにより民間事業者が参入し、不通話エリアの解消にもつながっていくことが考えられます。

地上デジタル放送



現在受信しているテレビ放送は、各個人宅での個別のアンテナ、もしくは難視聴地域における共聴施設を利用したものです。光ケーブルを利用することにより、西会津町のケーブルテレビのようにケーブル局で受信したテレビ放送を各家庭まで映像を配信することも技術的には可能となりますが、町単独での配信は新たな設備投資に莫大な費用を要することから、今後の検討が必要になります。

- ◆ 光ケーブルの整備を行うことにより、情報格差のない都市部と変わらない生活環境を実現することができま
- ◆ 防災・災害情報の充実による安全で安心な生活環境づくり
- ◆ 遠隔・在宅による福祉・介護の充実による町民の健康管理
- ◆ 教育環境の情報化
- ◆ 動画をつかった事業展開や産業の活性化と新規産業雇用創出
- ◆ 各種情報提供機能を拡大強化した交流環境整備による交流人口の増
- ◆ などといった、地域の特性を活かしたブロードバンド（光ケーブル）の活用によって、多方面での新たな可能性が数多く生まれてきます。
- ◆ しかしながら、光ケーブルの整備に伴い、その後の維持管理に係る経費等の財政的な負担も発生することから、財政状況を見据えながら今後更なる検討を進めていく必要があります。



ズームイン みしま



マリールイズさんの講演会

「教育」は平和を守る

マリールイズさん（ルワンダ）講演会

7月3日、アフリカのルワンダ出身のマリールイズさんの講演会が町民センターで開催されました。ルワンダでは、1994年に内戦が起り、100日間ですらなくとも80万人が虐殺されるという想像を絶する悲劇がありました。その後、マリールイズさんは福島市に移住し、母国ルワンダの平和を守るためには「教育」が大切であるという思いから、ルワンダに学校を作るための活動をされています。

マリールイズさんは流暢な日本語で、「日本に来て、誰でも学校に行けることや、80歳のおばあちゃんが新聞を読めること、どんなに山奥でも水道があること、30年先まで生きると普通に考えられることに驚きました。ルワンダの内戦の時は、次の朝が迎えられるかもわかりませんでした。日本では当たり前前のが、どんなに幸せなことか感じてほしいです。」と平和の尊さを訴えました。



マリールイズさん

マリールイズさんが所属するNPO法人ルワンダの教育を考える会（福島市）では、ルワンダにおける学校建設の支援や、学校運営の資金援助などを行っています。日本では義務教育が当たり前ですが、それによって人々が平等に教育を受けることができ、平和な社会が成り立っているということを再認識した講演会でした。

右から
高小若
橋平林
春梨新
菜花々
ちゃん
ちゃん



右から
二細星
瓶堀
良日
都玄
くん
ちゃん

子どもたちが1日駅長に

SL会津只見号運行

SL会津只見号は7月5・6日、JR只見線の会津若松ー只見間を運行され、各駅で歓迎イベントが行われました。会津宮下駅では、観光パンフレットの配布や物産販売が行われたほか、三島保育所の6名の子どもたちが1日駅長を務めました。5日は、細堀玄くん（中平）、二瓶良都くん（西方）、星日代里ちゃん（西方）、6日は、小平梨々花ちゃん（西方）、若林新菜ちゃん（滝谷）、高橋春菜ちゃん（宮下）が、1日駅長のたすきと帽子を身につけ、元気に手を挙げて出発の合図をしました。また、駅舎内と列車内において「語り部の会」による昔語りが披露されました。沿線にはカメラを手にした鉄道ファンが多数訪れ、緑豊かな自然の中を力強く疾走するSLの姿を撮影していました。

SL会津只見号は、毎年、春夏秋の3回運行されており、都市部からの観光客で毎回盛況となっています。都会の雑踏を離れ、時間がゆっくりと流れるローカル線の旅が人気を集めています。



カタクリデビュー（森の校舎カタクリ）

親子が集まり楽しい時間 子育てサークル「カタクリデビュー」

森の校舎カタクリでは、小さなお子さんと保護者の方々が楽しく過ごせる子育てサークル「カタクリデビュー」を月に2～3回開催しています。このサークルでは、同じ年頃のお子さんを一緒に遊ばせたり、お菓子を作ったり、育児について情報交換をする場となっています。7月15日には、6ヶ月から2歳のお子さんとお母さんたち7組が参加し、お子さんを自由に遊ばせた後、カタクリ恒例の流しそうめんを行って楽しく過ごしました。また、食べ物アレルギーのことや虫歯のことなど、子育ての話題を語り合いました。

「カタクリデビュー」は、楽しい子育てを応援する場所です。参加者を随時募集していますので、ご希望の方は森の校舎カタクリへお問い合わせください。☎ 森の校舎カタクリ TEL 48-5577
教育委員会 TEL 48-5599

みんなで守る伝統行事

大石田地区の「虫送り」

7月12日、大石田地区で農作物の害虫を追い払う伝統行事「虫送り」が行われました。子どもたちが中心的役割を担ってきた「虫送り」ですが、子どもが少なくなった今では地区住民の方々が協力して継承されています。当日は、他の地区の子どもたちも集まって参加。「悪虫送り」と書いた虫かごを先頭に行列となって地区内を歩きました。また、町外からの見物客も多数訪れ、昔ながらの伝統行事を見学していました。

三島町の「虫送り」は、福島県指定重要無形民俗文化財に指定されており、現在、3地区（西方・名入・大石田）で受け継がれています。西方・名入地区では毎年6月上旬、大石田地区では7月上旬に行われ、地区の風物詩であると共に、子どもたちの貴重な地域体験の場として大切にされています。



虫送り（大石田地区）

農業委員8名が決まりました 町の農業活性化にご尽力をお願いします



阿部通利さん
55歳 松原
(会長)



中村秀臣さん
73歳 西方
(会長職務代理)



秦 虎雄さん
63歳 大石田



角田一晴さん
57歳 川井



矢澤 昇さん
60歳 高清水



若林正光さん
60歳 滝谷



五十嵐光義さん
66歳 滝谷
農業共済推薦



二瓶一男さん
68歳 西方
J A 推薦

三島町農業委員会委員一般選挙は、7月1日告示で行われ、無投票で6名が当選し、J A 及び農業共済推薦の2名を加えて計8名の農業委員が決まりました。農業委員会の役割は、農業の担い手の育成や農地の有効利用により地域農業の振興を図ること、農地の売買や転用について公正に審査すること、農業者の声を行政に反映することなどです。特に三島町では今後、耕作放棄地の調査や農地パトロールなどを行いたいと考えています。小作料等の改定も行っていますが、今後の小作料等の契約においては、最近の燃料高騰などの現状を加味して契約を行ってください。

図 三島町農業委員会事務局
(役場 産業建設課内)
TEL 48-5556

山村の暮らしから学ぶ 奥会津案内人講座2008開講

奥会津案内人講座は、奥会津の自然・文化・人に学びながら、インタプリター(案内人)としての基礎技術などを実習スタイルで学ぶものです。嵯峨創平氏(NPO IDEC 代表)を全体コーディネーターとして全6回を予定しており、首都圏などから7名の受講者を迎えて7月19・20日に第1回目の講座が行われました。初日は座学が行われ、始めにエコミュージアムの町づくりを進めている三島町の歩みについて事務局より説明し、「ふるさと運動」などの取り組みについて理解を深めました。休憩後、外部講師の大原一興氏(横浜国立大学大学院教授)による「エコミュージアム概論」が行われ、ヨーロッパや日本各地の事例にふれながらエコミュージアムの基礎知識について学びました。

20日は、大谷地区での地域学ワークショップが行われ、諏訪キクノさん、五十嵐二三夫さん、五十嵐モト子さんのお宅を訪問して、ふだんの暮らしや工業化の時代を歩んできた思い出などについ

ECO MUSEUM PROJECT 三島町エコ・ミュージアムプロジェクト



五十嵐モト子さん(大谷)のお宅を訪問した参加者

て、じっくりとお話を聞きました。午後は、聞き取ったことをチームごとに壁新聞にまとめ、それぞれ発表しました。第2回目は、8月23・24日に開催されます。

本講座事務局では、町民の参加者を募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。
図 三島町エコミュージアムプロジェクト事務局
(三島町教育委員会) TEL 48-5599



もっとズームイン みしま



救命の訓練を行う三島中3年生の皆さん

AEDによる救命方法を学ぶ

三島中で救命講習実施

7月3・4日、三島中3年生7名と教員3名の皆さんが、会津坂下消防署三島出張所の消防士の指導による普通救命講習を受講しました。1日目は応急手当の知識を学び、2日目は訓練用のダミー人形とAED(自動体外式除細動器)を用いた心肺蘇生法を実習しました。講習後、全員に修了証が交付されました。この日使用した訓練用ダミー人形とAEDは、本年度、ふるさと消防団活性化助成事業(宝くじ助成事業)の助成金により購入したものです。

普通救命講習は、3時間の講習で修了証が交付されます。各種団体やサークル等(5名程度)も受講可能ですので、下記までお問い合わせください。

図 会津坂下消防署三島出張所 TEL 52-3032
役場 総務課 総務係 TEL 48-5511



ものづくり体験をする福島大学附属小5年生の皆さん

縄ないの難しさ体験

福島大学附属小5年生150名

7月9日、福島大学附属小5年生が総合的な学習の一環として三島町を訪れ、生活工芸館の見学とものづくり体験を行いました。総勢150名の児童の皆さんは、角田陽市生活工芸館長から町の生活工芸運動のお話を聞いた後、生活工芸館に展示してある工芸品や民具を見学しました。その後、交流センター山びこのギャラリーを使用して、町内の工人の皆さんに習いながら、ヒロロの縄を桐板に貼り付ける「ヒロロコースター」作りを体験。初めてやる「縄ない」に悪戦苦闘し、ものづくりの難しさを実感した様子でした。

生活工芸館では、今後も伝統的工芸品の魅力やものづくりの楽しさを広めていくために、ものづくり体験や各種イベントの企画を行っていきます。

各地区で花植え実施 住民の手できれいな道路環境作り

6月下旬、快適な道路環境の保全を目的に、下記のとおり各地区で道路沿いの花植えが行われました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

花植え場所	協力者
国道252号沿い・早戸駅付近	早戸地区の皆さん
国道252号沿い(旧ごみ処理場上)	滝原地区の皆さん
高清水橋付近	高清水地区の皆さん
慰霊碑付近(高清水)	宮下地区の交通安全母の会の皆さん
町民運動場下	宮下地区の交通安全母の会の皆さん 大登地区の皆さん
道の駅みしま宿前	滝谷・松原地区の交通安全母の会の皆さん
大石田地区入口付近	大石田地区の交通安全母の会の皆さん
国道400号沿い(西方)	西方地区の交通安全母の会の皆さん
町道沿い	大登・大谷地区のボランティア団体の皆さん



町民運動場下の花植え

三島町地域防災計画

【第2回】

最近、東北地方で地震が多く発生し、会津地方でも揺れを観測しています。地震が発生すると、建物の損壊や火災が発生し、行政の迅速な救助・支援活動が困難になるかもしれません。まず、皆さんは自分自身の身の安全を守りましょう。

そして、「自らの命は自ら守る」＝「自助」、「自分たちの町は自分たちで守る」＝「共助」の精神で行動してください。

1. 火 災

(1) 対応のポイント
火災の最大の予防策は「出火させないこと」です。そのために、町では町民の皆さんに次のことをお願いします。

- ①消火器の設置、消火バケツの備え
- ②ガス漏れ警報機、住宅用火災警報器、漏電ブレーカー、防災カーテンの導入
- ③危険物（灯油等）の安全管理

(2) 町や防災機関の対応

- ①危険物施設や電気施設、飲食店等における出火防止策を検討・指導しています。
- ②消火器等の普及を図っています。
- ③火災の拡大防止のため、防火水槽・消火栓・消防活動路等の整備、地域防災体制の確立を推進しています。

2. 建物の倒壊

(1) 対応のポイント
①倒壊していなくても余震で倒れることがあります。建築士（応急判定士）が応急判定を行うまでは損壊した建物に近づかないでください。
②判定結果は、「危険＝赤」、「要注意＝黄」、「調査済＝緑」の3種類のステッカーで示しますので、よく確認してください。

(2) 町や県の対応
状況に応じて仮設住宅を設置します。設置場所は次の場所を予定しています。

仮設住宅設置場所
町 民 運 動 場
生涯学習センター
町営住宅中平団地

※次回は、地震の時の避難等について掲載します。

☎ 役場 総務課 総務係 TEL 4 8 - 5 5 1 1

社会保険庁からのお願い

「ねんきん特別便」をお届けします
年金記録の確認にご協力ください

○緑色の封筒でお届けします

- ・年金を受けておられる方へ
今年4月から5月までの間
- ・現役加入者の方へ
今年6月から10月までの間



緑色の封筒の「ねんきん特別便」

※今年3月までに青色の封筒で「ねんきん特別便」が届いた方は、年金記録のもれがある可能性が高い方です。



青色の封筒の「ねんきん特別便」

○年金記録のご確認をお願いします

- ・年金記録にもれや間違いがないかご確認をお願いします。
 - ・もれや間違いがある場合もない場合も、必ずご回答くださいますようお願いいたします。
- ※年金記録が変われば正しい年金額をお受け取りいただけることになり、年金額が増える可能性が高いので十分ご確認ください。

○まわりの方にも呼びかけてください

ご家族の方などに「ねんきん特別便」が届いたら、過去の職歴について一緒に記憶をたどってみるなど、多くの方からご回答をいただけるようご協力をお願いします。

※ご家族でも一人一人届く時期は異なります。

ご質問・お問い合わせは

ねんきん特別便専用ダイヤル
0 5 7 0 - 0 5 8 - 5 5 5

☎ 役場 町民課 町民生活係 TEL 4 8 - 5 5 5 5

●●● 保健師だより ●●●



楽しく料理をする子どもたち

親子で楽しく食育

親と子の料理教室「キッズクッキング」

小学生の親子を対象とした食育教室「親と子の料理教室キッズクッキング」は、7月19日、17名の親子が参加して町民センターで開催されました。三島町食生活改善推進員会長の坂内アイ子さん（宮下）があいさつし、和楽美の会会長の小島順子さん（宮下）が調理の注意点などを話しました。子どもたちは、食生活改善推進員の皆さんやお母さんに教えてもらいながら、楽しそうに調理を進めました。献立は、三島小学校のよい歯の学校表彰に関連して、よい歯を作る「カミカミ献立」。とても美味しく出来上がり、自宅でも作りたいという感想が聞かれました。

レシピの一例

大豆入り五目ひじき

(材 料)乾燥ひじき15g・油揚げ1枚

にんじん1/3本・さやいんげん4本
サラダ油 大さじ1・大豆(水煮缶)20g
しょうゆ2g・砂糖1g
かつおだし汁 大さじ1

(作り方)①ひじきは水につけてもどす。

②油揚げは熱湯をかけて油抜きし、横半分に切って5mm幅に切る。にんじんも同じ大きさに短冊切りにする。

③鍋でサラダ油を熱し、ひじき・油揚げ・にんじんを入れてさっと炒める。水1カップ・調味料・水気をきった大豆を加え、弱火で煮汁がなくなるまで炒め蒸す。最後に、塩茹でしたさやいんげんをせん切りにして散らす。

連 載

心ある医療

福島県立宮下病院からの情報コーナー

宮下病院における訪問看護

宮下病院では、自宅で看護や介護を必要としている方々が安心して安楽に日常生活を送れるように、平成19年4月より『訪問看護』を実施しております。昨年度は、外来・病棟あわせて5名の看護師により、延べ70件の訪問看護を実施しました。具体的には、自宅で生活するのに酸素が必要な方（在宅酸素療法）、水分や食事の量が少なくなって点滴が必要な方（水分・栄養補給）、寝たきりで床ずれができて処置が必要な方（褥瘡予防・処置）などの治療を行っています。

今後とも、「家に帰りたい」「家族と過ごしたい」「自宅で看取りたい」など、患者様や家族の思いが少しでもかなえられ、病院から在宅へ切れ目のない、安心した療養生活が送れるような訪問看護を実施していきたいと思っています。

また、宮下病院では、医師が在宅診療の必要な患者様に対し『訪問診療』（往診）も行っております。在宅での看護に関する相談、悩み事などがありましたら、お気軽に看護師に声をかけてください。

宮下病院訪問看護スタッフ一同

☎ 福島県立宮下病院事務部 TEL 5 2 - 2 3 2 1



訪問看護

これからの行事予定	
8月4日(月)	10:00～ 桐の子隊ツリーイング&キャンプ (美坂高原 5日まで)
8月7日(木)	9:30～ 心配ごと相談(福寿草) 19:00～ 地区対抗ソフトボール大会代表者会議 (町民センター)
8月8日(金)	9:30～ Y Yサークル(町民センター) 10:00～ 「道路ふれあい月間」街頭キャンペーン (道の駅「みしま宿」)
8月9日(土)	9:00～ 三島グラウンドゴルフ会長杯(美坂高原)
8月10日(日)	山の神感謝祭(美坂高原)
8月14日(木)	8:00～ 地区対抗ソフトボール大会(町民運動場)
8月15日(金)	10:00～ 三島町成人式(交流センター山びこ) 10:00～ 大谷河川まつり(大谷川河川敷公園)
8月19日(火)	10:00～ 太極拳みしま(町民センター)
8月20日(水)	10:00～ 行政相談(町民センター談話室)
8月23日(土)	10:00～ 早戸温泉神社まつり(早戸温泉つるの湯) 13:00～ 奥会津案内人講座 (森の校舎カタクリ 24日まで)
8月25日(月)	三島小・三島中第2学期始業式
9月3日(水)	10:00～ 三島町敬老会(森の校舎カタクリ体育館)
9月4日(木)	13:30～民生児童委員協議会定例会(福寿草)

大鎌の亡父の手痕よ山清水
足指に桐下駄やさし梅雨の星

花葵通勤前の草むしり
暮れそめて未だ暮れやらぬ夏の夕

楡原片山祐一

西方小柴六進子

歳時記 萌の会

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》	
☎ 役場 町民課 保健福祉係 TEL 48-5565	
心の健康相談	8月5日(火)13:30～ 福寿草
足腰げんき教室	○室内運動編 8月7日(木)13:30～ 町民センター ○水中運動編 8月22日(金)13:00 町民センター集合 (西会津さゆり公園プール)
4ヶ月児健診	8月12日(火)11:15～ 坂下厚生総合病院
介護予防教室	8月19日(火)13:30～ 町民センター
乳児・1歳6ヶ月児・2歳児健診	8月21日(木)13:10～ 町民センター
からだげんき運動教室	8月26日(火)13:30～ 町民センター
機能訓練会	8月27日(水)13:30～ 福寿草
子宮がん検診	8月28日(木)13:00～ 町民センター

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では6月中、犯罪は発生しませんでした。管内において、車のタイヤが盗まれる被害が発生しています。夜間などに、鍵をかけていない倉庫や車庫、自宅の軒下に置いてあるタイヤが盗まれており、倉庫などからはタイヤ以外の物も盗まれています。倉庫や車庫には必ず鍵をかけるようにし、盗難に十分注意してください。

三島町内街頭犯罪等発生状況（1～6月）

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい		
忍 込 み		
事 務 所 荒 し	1	
出 店 荒 し		
自 動 車 盗	2	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	1	
自販機ねらい	4	
車 上 ね ら い	1	
街 頭 犯 罪 計	9	0
全 刑 法 犯	48	1

※全刑法犯には、街頭犯罪以外（器物損壊・傷害・万引き等）の犯罪発生件数が含まれます。



表彰

交通事故死者ゼロ1500日達成

三 島 町

三島町では、平成16年6月12日以来、交通死亡事故がなく、平成20年7月21日午前0時をもって交通事故死者ゼロ1500日を達成しました。7月25日、町民センターにおいて表彰式が行われ、森合正典 会津地方振興局長（会津地方交通対策協議会長）より、齋藤茂樹 三島町長（三島町交通対策協議会長）へ表彰状が授与されました。また、五十嵐廣和 会津坂下警察署長が祝辞を述べました。今後も町民みんなで交通事故を防止し、次は交通事故死者ゼロ2000日を目指していきましょう。



表彰状を授与される齋藤茂樹 三島町長

ご寄付ありがとうございました

社会福祉協議会へのご寄付

ご遺志によるもの

長谷川 孝 志 様 (桑 原)
舟 木 宗 喜 様 (間 方)
堀 内 武 雄 様 (名 入)

《社会福祉協議会より》

生きがいデイサービス「サロン事業」の予定

8月26日(火)

楡原はつらつクラブ
高清水・小山いきいきサロン
滝谷和楽塾
合同遠足（新潟県寺泊方面）

ご注意

日本脳炎ウイルスは蚊から感染します

《お子さんが刺されないようにご注意ください》

蚊の多い季節となりました。日本脳炎ウイルスは、豚の体内で増殖し、蚊（コガタアカイエカ）を媒介して人に感染します。例年、日本脳炎ウイルスを保有する豚が西日本を中心に確認されています。蚊は、夕方から夜にかけて活動が活発になりますので、長袖・長ズボンを着用し、防虫スプレーを使うなど、蚊に刺されないように注意してください。

※日本脳炎ウイルスは人から人へは感染しません。

日本脳炎ウイルスに関する詳しい情報は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

日本脳炎Q&A で検索

☎ 役場 町民課 保健福祉係 TEL 48-5565

お知らせ

中学1年生と高校3年生相当年齢の方が麻しん風しん混合ワクチンの定期予防接種の対象に追加されました

昨年、10～20代を中心とした年齢層で麻しんが流行し、多くの学校が休校となるなど社会的な問題となりました。このため、厚生労働省では、麻しんの予防接種を1回しか受けていない年代に対し、2回目の予防接種を受ける機会を設けることにしました。

○対 象 者 中学1年生相当年齢の人
高校3年生相当年齢の人

○実施期間 平成20年4月1日から
平成25年3月31日まで

○ワクチン 麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）

※対象者には、春に町から通知をお届けしていますので、まだお済みでない方は通知に従って予防接種を受けてください。

☎ 役場 町民課 保健福祉係 TEL 48-5565

消防操法技術を全力で発揮

第36回福島県消防操法大会両沼地方予選会

三島町消防団代表 滝谷班・松原班合同チーム



七月二十七日、第三十六回福島県消防操法大会両沼地方予選会が会津美里町の消防操法訓練場で開催され、三島町消防団代表として滝谷班・松原班合同チームが小型ポンプ操法の部に出場しました。選手は、大竹重一郎さん（指揮者・滝谷班）、阿部和彦さん（一番員・松原班）、星保弘さん（二番員・滝谷班）、大竹正義さん（三番員・滝谷班）、鈴木芳伸さん（補欠・松原班）。約一ヶ月間の練習の成果を十分に発揮し、結果は五位となりました。いつ起こるかかわからない火災にすばやく対応するためには、消防操法技術の向上が非常に大切です。三島町の代表として訓練を重ねた選手の皆さん、本当にありがとうございました。

人口と世帯 7月1日現在（住民基本台帳）

人口	2,172人(+3)	6月中の出生	0人
(男)	1,021人(+2)	人の動き	死亡 0人
(女)	1,151人(+1)		転入 5人
世帯数	865世帯(+2)		転出 2人

広報 みしま 8月号 No.185

発行日 平成20年8月1日
編集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
TEL 0241-48-5515
ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
印刷 株式会社アポロ

みしま 編集後記

昭和30年代、日本中が初めて見るテレビに釘付けとなりました。小さな画面に映し出された皇太子のご結婚や東京オリンピックに、多くの人々が感動しました。放送開始から50年以上。地上デジタル放送への移行により、テレビはよりきれいで便利な情報機器へと進化します。テレビだけでなく、現代は様々な機器によって世の中のいろいろな情報がその場で得られる時代です。ここ10数年で、携帯電話やパソコン、インターネットは多くの人々に普及し、今や常識となりました。山村に住みながら、日本中、世界中の情報を得ることができる基盤も、私たちの豊かな暮らしのために必要となっています。



「広報みしま」は環境にやさしい大豆インクを使用しています。

※広報みしま8月号の印刷経費は1部63円です。

広報みしま 平成20年8月号